

総務委員会議会報告会報告書

報告日：令和4年12月20日

出席者	参加者	22人
	議会側	【総務委員】岩崎委員長、大道副委員長、落海委員、宮川委員、池田委員、山下委員、鈴木利宏委員 【委員外議員】大下議員、北林議員
開催日時		令和4年11月11日（金）19：00～20：30
開催場所		黒瀬保健福祉センター
実施内容報告	議会報告	<p>テーマ 令和4年度予算について</p> <p>概要 本市の令和4年度予算の概要について、第五次総合計画や地域別計画に沿って説明した。あわせて本市の財政状況や、令和4年度予算における主要な施策のうち、特に重点的に取り組んでいるもの、黒瀬町における事業の進捗などを紹介した。</p> <p>質疑応答</p> <p>① 「一般会計予算の黒瀬町分としてはどの程度の配分があるのか。また、黒瀬町は割り当てられた予算の中でどういった費目が他町と比べて多いか。」との質疑があり、「土木事業などは町別に算出できるかもしれないが、福祉や教育、医療などは市内全域で必要な予算を算出しており、執行部においては町別で予算を把握するという認識がないと思う。」と回答した。</p> <p>② 「黒瀬に久しぶりに来たという議員もいると思うが、黒瀬町についてどのように思うか。またどのように見えているか。」との質疑があり、「安芸津と比べて人口が多く、広島市に近いというベッドタウンとしての位置づけかと思っている。市としても広島国際大学と健康なまちづくりを進めており、健康づくりについては黒瀬が先進地である。安芸津より黒瀬の方が要介護認定率が低いのではないかと。黒瀬は立地がよく、産業誘致等、大規模な事業をもってくるのには魅力的であると思うし、期待できる地域である。」と回答した。</p> <p>③ 「黒瀬町は5年後10年後にどのような町になったらいいか。」との質疑があり、「黒瀬町の人口を増やすなら企業誘致など、何らかの要因が必要。黒瀬町には地域センターがない。将来的には各地区に地域</p>

実施内容報告	議会報告	質疑 応答	<p>センターを設置し、職員を配置してほしいと思う。生涯学習センターという立派な施設があるので、皆さんにしっかり利用してもらって活動してほしい。農業の後継者がいない。何らかの対策を考える必要がある。野菜など、何かに特化して作ってほしい。」と回答した。</p> <p>④ 「市債の現在高はどのくらいあるか。財政状況はどうか。」との質疑があり、「市債は年々減っており、健全である。経常収支比率についても県内トップクラスである。」と回答した。</p>
	意見交換	<p>I 公立学校について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 市民スポーツ大会など地域を中心としたイベントに子供たちが参加しても教職員には働き方改革を理由に参加してもらえない。子供たちが可哀そうだと思う。勤務形態の工夫をして欲しい。</p> <p>② 国際大学に体育科が出来た。現在地元の子供たちを国際大学に連れていき、学生に指導をしてもらっている。この地域はアルバイトも少ないため、クラブ活動の支援者として雇用をしてもらいたい。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>① 勤務体系の工夫が可能か持ち帰って検討したい。</p> <p>② T o w n & G o w n の観点からも良い取り組みと考える。担当課に御意見を伝えたい。</p> <p>II 農業・地産地消について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 農家が減っている。圃場整備もされていない。水もない。雑地が増えているし、肥料などの経費も倍近くにまで高騰している。これから先が不安である。</p> <p>② J A の合併の影響でどのように変わっていくか分からない。</p> <p>③ 農業の管理方法として報奨金制度などを検討するべきではないか。国の制度として中山間地域の交付金制度があると思うが、県や市でも独自施策を実施すべきではないか。</p> <p>④ 地産地消のため野菜を継続して作っていくには法人化しかない。個人農家では安定的に生産することは難しい。</p> <p>⑤ 当地区の農業従事者の平均年齢は70代後半で、近い将来農業後継者がいなくなるのでは、と心配している。市として早期に対策をして頂きたい。</p>	

実施内容報告	意見交換	<p>【議会側意見】</p> <p>①③④ 機械・肥料が高騰しているのは理解している。鳥獣被害対策では捕獲数よりも生まれる数の方が多いのが現状。農業を守っていくため、国や県と共同して補助すべきか検討が必要だと思う。高齢化が進んでいるのは理解している。法人化を進めているのも知っている。補助金もあるが少額なので検討すべきと思う。</p> <p>② 田植えで苗を育てているのを直まきにするなどの方法も進んでおり、検討すべきだと考える。</p> <p>⑤ 東広島市は県内でも最大の穀倉地帯であり、農業の振興にも力を入れているが、年々高齢化が進んでいるので、早期に対策を検討する必要があると考えている。</p>
		<p>Ⅲ (豪雨) 災害対策について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 平成 30 年の豪雨災害のこともあり、自宅がある場所が警戒区域となった。「家を移設したいか？」という内容のアンケートが市から来たが、補助される費用も少ないし、家を引っ越しても田んぼや畑はどうすれば良いのか。引っ越せば良いというような簡単な話ではない。</p> <p>② もし今後豪雨災害があった場合に安全な場所はあるのか。今までに災害がなかっただけで次も大丈夫という確証はない。</p> <p>③ 豪雨災害のたびに黒瀬川が氾濫しているので、今後の災害に備えて河川監視カメラ・防災用大型排水ポンプの増設をお願いしたい。</p>
		<p>【議会側意見】</p> <p>① 急傾斜地の対策のため県や市で補助をすることになったが、それだけではなくトータル的に考えていかなければならない。</p> <p>② ー</p> <p>③ 市内には、豪雨の際に災害が発生する河川が多くあるが、特に黒瀬川が氾濫すれば多くの民家が災害に見舞われるので、もう少し増設が必要と感じている。</p>
		<p>Ⅳ 公共交通について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 現在、さくらバスの運営は順調であると考えているが、今後もっと取り組みを発展させる必要がある。自動運転などの導入に期待をしている。</p>

意見交換

【議会側意見】

- ① 法整備が万全とはいえない状況だが早くそのような時代になることを望む。

V デジタル社会の対応について

【参加者意見】

- ① マイナンバーカード取得の様々な政策が行われているが、取得後、何に使われるのか。取得のメリットが感じられない。何のために取得する必要があるのか疑問である。
- ② 我々高齢者は、現在のデジタル社会についていけない。高齢者にも解るような説明の機会をいただきたい。

【議会側意見】

- ① デジタル社会を目指していることからこれらの政策がとられている。ご理解を頂きたい。
- ② 多くの市民が少しでもデジタルサービスの恩恵が受けることが出来るよう、特に高齢者などデジタル社会に不慣れな人にも十分な対応が必要と思っている。

VI 企業誘致について

【参加者意見】

- ① 黒瀬工業団地は全区画完売しており、地域の発展のためには早期に産業団地を開発して企業を誘致して頂きたい。当地区は、馬木インターも近く交通も便利である。

【議会側意見】

- ① 市としても産業団地の誘致は市の財政や人口増にも繋がるので、検討が必要だと考えている。

VII 住民自治協議会について

【参加者意見】

- ① 黒瀬では団地の高齢化が急速に進んでおり、通院や買い物など日常生活に支障が出るほどである。市中心部に比べて自治会の加入率は高いが、近年低下傾向にあり、住民自治協議会の役員のみ手がないため、代替わりができず役員も固定化している。

【議会側意見】

- ① 中心部、周辺部問わず同様の状況にある。課題解決に向け自治協と行政、議会がしっかり議論を重ね、取り組みを進めたい。

実施内容報告	意見交換	<p>VIII 市議会について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 説明をもっと具体的な内容にしてほしい。資料が少なく丁寧さに欠ける。</p> <p>② 予算編成に市議会議員はどのように関わっているのか。内容を理解しているのか。</p> <hr/> <p>【議会側意見】</p> <p>① 限られた時間で予算の概略を理解していただくために全体がわかる資料にしている。今後の課題として検討をする。</p> <p>② 決算特別委員会での審査のなかで各事業を精査し、市民要望や先進事例をもとに議員から提案を行い、予算に反映させている。</p> <p>すべての事業や施策を理解しているわけではない。予算・決算の特別委員会での説明や関係資料をもとに質疑し、課題を調査している。</p>
	要望・提言等	
その他 特記事項		<p>① 議会報告会を開催するに当たっては、開催地域の実情に即した内容になるようにしっかりした協議が必要だと感じた。また、資料も具体的な内容にしていく必要がある。</p>

総務委員会議会報告会報告書

報告日：令和4年12月20日

出席者	参加者	23人	
	議会側	【総務委員】岩崎委員長、大道副委員長、落海委員、宮川委員、池田委員、山下委員、鈴木利宏委員	
開催日時		令和4年11月16日（水）19：00～20：30	
開催場所		安芸津生涯学習センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	令和4年度予算について
		概要	本市の令和4年度予算の概要について、第五次総合計画や地域別計画に沿って説明した。あわせて本市の財政状況や、令和4年度予算における主要な施策のうち、特に重点的に取り組んでいるもの、予算特別委員会総務分科会での審査の様子などを紹介した。
		質疑応答	「大学連携については、中心部ではその取り組みが見えるが、周辺部では見えにくい。安芸津と関係あるのか。どの程度の予算が安芸津のために支出されているのか。」との質疑があり、「大学連携により牡蠣についての取り組みを進めている。この度のTown&Gown構想の取り組みは、地域課題の解決に向けて大学の知見を活用するものだが、始まったばかりであり、成果が見えにくいと思う。御理解いただきたい。」と回答した。
	意見交換	I 農林水産業の活性化（安芸津地区 地域別計画）について	
		【参加者意見】	① 地域別計画に農林水産業の活性化とあるが、耕作放棄地や担い手不足が深刻化している。どのように活性化するのか。
	【議会側意見】	① 農業はどここの地域でも後継者不足で、対策として農事組合法人を設立して対応しているが、それも後に高齢化が進み、例えば志和などでは複数の農事組合法人が合併するなどの対応をしている。根本的な対策が必要であると考え	
	II 鳥獣被害について		
	【参加者意見】	① 豪雨災害も災害だが、鳥獣被害も災害であると思う。しっかり対策を検討してほしい。 ② 所有者のいない土地の柿の木などが鳥獣増加の温床となっている。所有者がいない場所や不明な場所でも伐採する	

実施内容報告	意見交換	<p>などの対策を検討すべきではないか。また空き家についても同様であると思う。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>① 鳥獣被害対策に対応したグレーチングなどを設置する方法もあるが、公道での対策となると難しいので、先進事例を研究していく。</p> <p>② ー</p>
		<p>Ⅲ 災害時について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 安芸津では今でも防災無線を使っているが大雨時には聞こえにくい。避難情報の提供方法を考えて欲しい。</p> <p>② 現在、避難行動要支援者の支援者が災害時支援をするとき保険制度が無い。支援を行ったがために怪我を負わせたりしないかためらうことがある。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>① 東広島市では全市域に緊急告知ラジオで災害情報を提供している。75歳以上の方のみの世帯には無償配布している。また、東広島市ポータルサイトに登録すれば避難情報が通知される。</p> <p>② 避難行動要支援者の支援者に対する保険制度について、持ち帰って検討したい。</p>
		<p>Ⅳ まちづくりについて</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 安芸津では、以前は町民運動会など町全域での行事を行っていたが、住民自治協議会になって活動は小学校単位となり町一体での行事がない。</p> <p>② 風早地域まちづくり5か年計画を作成した。全世帯に配布したいが予算がない。予算措置して欲しい。</p> <p>③ 合併以降、人口減少が顕著になっている。市中心部は都市化が進み人口が増えている。しかし、周辺部は遅々として変わらない。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>① 確かに今の住民自治協議会になって、世帯数が200世帯の地域もあれば1,000世帯以上の地域もあり活動も地域によって異なる。各住民自治協議会で横のつながりを持つようお願いしたい。</p> <p>② いただいた御意見を担当課に伝えたい。</p> <p>③ 議会や行政に地域課題に即した提案型の要望をしていただく中で課題解決に向けた施策を推進できるようにしたい。</p>

V 防犯について

【参加者意見】

- ① 第一部の報告で防犯灯の増設予算の話があったが、夜は田舎ほど暗いのでぜひ増設してほしい。
- ② 安芸津交番の署員が減らされたので防犯の面から再考してほしい。

【議会側意見】

- ① 自治会を通して防犯灯の申請をお願いしたい。
- ② いただいた御意見を担当課に伝えたい。

VI インターネット等の通信速度について

【参加者意見】

- ① 安芸津町にもインターネット環境はあるが、通信速度が遅い。ある企業からは、本社との通信の際、不便だという声も聴く。企業誘致などする上でも不利ではないか。

【議会側意見】

- ① 通信速度は利用している企業の通信環境や通信提供会社の環境も影響していると考えます。まずは通信エリアの拡大に注力していると思われるので、今後、現状について調査を行っていきたい。

VII 道路整備について

【参加者意見】

- ① 赤崎海岸線の国道 185 号から木谷小学校までの間の整備が棚上げになっているが、今後の見通しはどのようになっているか。通学路でもあり狭隘な路線でもあるので早期の解決を望む。状況の説明が欲しい。
- ② 安芸津は狭隘な道路が多い。特に大芝島の海岸線の道路は改良が進まず危険な状況のままになっている。いつになったら改善できるのか。

【議会側意見】

- ① いただいた御意見を担当課に伝えたい。
- ② 平成 30 年 7 月豪雨災害や新型コロナ対策などで公共事業や各種施策が大きな影響を受け事業が大幅に遅れている。地域の実情を再要望することも検討してみたらどうか。

VIII 高潮対策について

【参加者意見】

- ① 今年度、高潮対策の予算が組まれているが、どのように使われるのか。

実施内容報告	意見交換	<p>② 地域（B&G付近）によっては大潮になると非常に水位が高くなり、不安である。</p> <p>③ 三津地区ではポンプが設置され、浸水対策が講じられている。</p> <p>④ J Rの線路が、ある意味で防波堤の役割となったり内水氾濫の要因となったりしている。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>① 今年度予算の高潮対策は修繕維持管理が中心となる。元々港湾施設の管理は県の所管であったが、県から市に移管された経緯がある。その際、明確な整理や手続きが不明なまま移管されており、今日の状況になっている。今後も県との調整が必要である。</p> <p>②③④ -</p>
		<p>IX 県立安芸津病院について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 「やさしい未来都市」を目指した予算ということだが、高齢者や病人に優しくない。</p> <p>② 県病院にはMRIが無い。</p> <p>③ 県病院の統合・移転という話もあるが、安芸津だけでなく近隣市町においても必要な病院である。是非とも病院を存続してほしい。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>①②③ -</p>
		<p>X 大学連携事業について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 学生に木谷地域での放課後の学習指導をお願いしても、交通手段がない学生が多いことからマッチングできない。交通手段や、周辺地域にも行こうと思わせる制度設計が必要と考える（例えば、大学を発着する学生は、周辺地域に行くほど収益的には不利となるため制度自体が大学周辺に特化した制度に見える。）。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>① -</p>
		<p>XI 議会報告会について</p> <p>【参加者意見】</p> <p>① 説明資料が漠然としたものになっている。もっと地域課題に即した具体的な内容にしてほしい。</p>

実施内容報告	意見交換	<p>【議会側意見】</p> <p>① 限られた時間で予算の概略を理解していただくために全体がわかる資料にしている。安芸津関連の事業は代表的な事業を載せている。今後の課題として検討する。</p>
	要望・提言等	<p>○生活に直結する予算というより、上の人だけでやっている施策の気がする。</p> <p>○安芸津バイパスの進捗はどうなっているのか。</p> <p>○二馬手地域の塩田跡地を文化財保存するよう要望して3年が経つ。いつになったら指定されるのか。早くして欲しい。</p>
	その他 特記事項	<p>○議会報告会を開催するにあたっては開催地域の実情に即した内容になるようにしっかりした協議が必要だと感じた。また、資料も具体的な内容にしていく必要がある。</p>